取扱説明書	FRR-14A-NB	100493912833			01

1. 取扱説明書

SHC8018

まずはじめに

この取扱説明書の見かた……2
必ずお守りください(安全上の注意)…2
各部のなまえとはたらき(スイッチ)…4
各部のなまえとはたらき(画面)……6
時計を合わせる……8

使いかた

運転する……10
温度を調節する……12
能力を一時的に上げる<パワフル>…14
能力を抑える<ひかえめ>……16
タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>…18
タイマー運転をする<タイマー入/切>……24
リモコンの音を消す(鳴らす)……26
操作ロックをする……28

必要なとき

日常のお手入れのしかた……30
故障・異常かな?と思ったら……31
アフターサービスについて……33

保証書 裏表紙

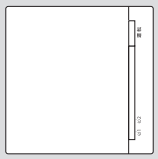
TOKYO GAS

温水ラジエーター用リモコン

取扱説明書(保証書付)

品名

FRR-14A-NB



この取扱説明書の見かた

このたびは温水ラジエーター用リモコンをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- この取扱説明書（保証書付）は熱源機や温水ラジエーターの取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

文中の（P○）の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

必ずお守りください（安全上の注意）

★温水ラジエーター用リモコンに関する内容のみ記載しています。熱源機・温水ラジエーターの取扱説明書と併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定されます。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告

必ず守る
リモコンの設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する
安全に使用していただくため。

分解禁止
お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない
思わぬ事故や故障の原因になります。

必ず守る
地震、火災などの緊急の場合は、運転スイッチを「切」にし、熱源機の取扱説明書に従って熱源機を停止する

異常音・水漏れ・臭気など異常を感じた場合は、ただちに運転スイッチを「切」にし、「故障・異常かな？と思ったら」（P31～32）に従い処置をする
それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、販売店に連絡する

⚠注意

必ず守る
設定温度5以上、またはパワフル運転（P14）中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する
やけど予防のため。

禁止
暖房以外の用途には使用しない
特殊な用途（衣類の乾燥・動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など）には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

お願い

リモコンは0℃～40℃の室温で使用する
故障の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない
変色や変形などの原因になります。

リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポット、加湿器などに注意。
故障の原因になります。

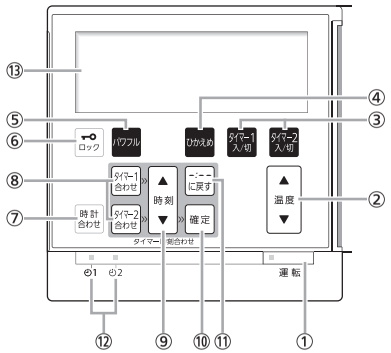
リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

停電すると、運転が停止します

停電後や、長期不在などで熱源機の電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する
時計がリセットします。

表示画面を強く押さない
液晶が破損する場合があります。

各部のなまえとはたらき（スイッチ）



※イラストは、ふたを開けた状態です。

① 運転スイッチ・ランプ（緑または赤）
温水ラジエーターの運転入・切に。（P10）
緑：通常運転中
赤：パワフル運転中

② 温度調節スイッチ
温水ラジエーターの温度調節に。（P12）

③ タイマー1（タイマー2）入/切スイッチ
温水ラジエーターのタイマー1（タイマー2）の入・切に。（P24）

④ ひかえめスイッチ
ひかえめ設定をするときに。（P16）

⑤ パワフルスイッチ
パワフル運転をするときに。（P14）

⑥ ロックスイッチ
操作ロックをするときに。（P28）

⑦ 時計合わせスイッチ
時計合わせに。（P8）

⑧ タイマー合わせスイッチ
タイマー時刻合わせに。（P18）

⑨ 時刻スイッチ
- 時計合わせに。（P8）
- タイマー時刻合わせに。（P18）
- リモコンの音を消す（鳴らす）ときに。（P26）

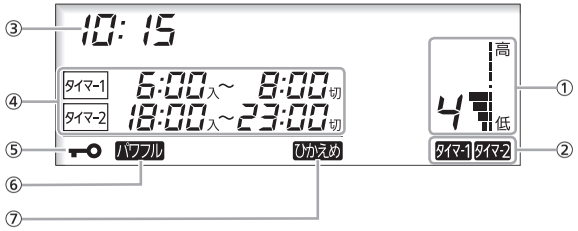
⑩ 確定スイッチ
- 時計を確定するときに。（P8）
- 時刻設定を確定するときに。（P18）

⑪ −:−−に戻すスイッチ
タイマー時刻を「−:−−」に設定するときに。（P19）

⑫ タイマーランプ（オレンジ）
タイマー1・タイマー2が「入」のときに点灯します。（P25）

⑬ 表示画面
（P6）

各部のなまえとはたらき（画面）



① 設定温度表示
設定温度を1～9で表示します。（P13）

② タイマー表示
設定しているタイマー（1または2）を表示します。（P25）

③ 時計表示

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示をします。（P31）

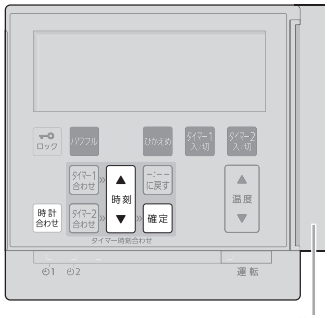
④ タイマー時刻表示
タイマーの入時刻・切時刻を表示します。（P19）

⑤ 操作ロックマーク
操作ロック中に表示します。（P29）

⑥ パワフル表示
パワフル運転中に表示します。（P15）

⑦ ひかえめ表示
ひかえめ設定時に表示します。（P17）

時計を合わせる



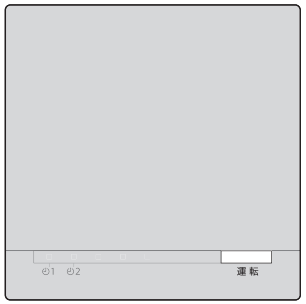
ふたを開けた状態

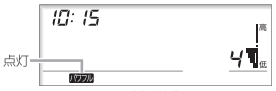
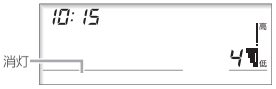
操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の 時計合わせ を押す	点滅 −:−− 高 低 （表示例）	●運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 ▲時刻▼ で時計を合わせる	点滅 10:15 高 低 （例：午前10時15分）	●一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。
3 確定 を押す **【設定完了】**	ここのみ点滅 10:15 高 低 （例：午前10時15分）	●約60秒そのままにしても設定完了します。

お知らせ

●停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「−:−−」になりますので、時計を合わせ直してください。

運転する



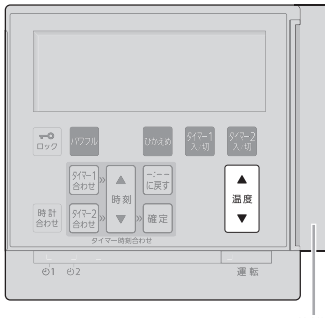
操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチを「入」にする	 （表示例）	●運転ランプ点灯(赤)。 ●前回の設定内容で運転を開始します。 ●熱源機が自動的に運転を開始します。 ●約60分後にパワフルが消灯し、運転ランプが緑に変わります。
●停止したいとき		
運転スイッチを「切」にする	 （表示例）	●運転ランプ消灯。 ●熱源機が自動的に運転を停止します。

⚠注意 必ず守る **設定温度5以上、またはパワフル運転(P14)中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する**
やけど予防のため。

お知らせ

●通常、運転スイッチ「入」にすると「パワフル」運転(P14)から始まります。(「パワフル」運転終了後に運転スイッチ「切」にし、すぐに「入」にした場合など「パワフル」運転から始まらない場合もあります)

温度を調節する

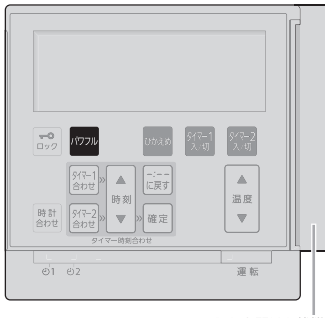


ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の ▲ 温度 ▼ で調節する	10:15 強 5 弱 （例：温度5に設定）	●運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ●1～9で設定できます。お客さまのお好みに合わせて、調節してください。 ●初期設定（工場出荷時）は4です。

⚠注意 必ず守る **設定温度5以上、またはパワフル運転（P14）中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する**
やけど予防のため。

能力を一時的に上げる＜パワフル＞



ふたを開けた状態

- 温水ラジエーターを早くあたためたいときに。
- 温度表示はそのままで、約60分間、最大能力で運転します。（その後、通常運転に戻ります）

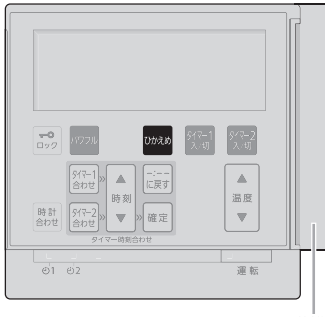
操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチ「入」中にふたの中の パワフル を押す	10:15 41 点灯 パワフル （表示例）	●「パワフル」運転中は、運転ランプが赤で点灯します。（時間がたって通常運転に戻ると、緑に戻ります）
● パワフル運転を解除したいとき		
パワフル を押す	10:15 41 消灯	●運転ランプが緑に戻ります。

⚠注意 必ず守る **設定温度5以上、またはパワフル運転中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する**
やけど予防のため。

お知らせ

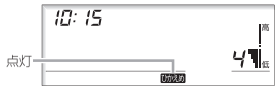
- 通常、運転スイッチ「入」にすると「パワフル」運転から始まります。（「パワフル」運転終了後に運転スイッチ「切」にし、すぐに「入」にした場合など「パワフル」運転から始まらない場合もあります）
- 部屋の温度が高いと感じたら、「パワフル」を解除してください。
- 「パワフル」と「ひかえめ」(P16)が同時にはたらくと、「パワフル」の運転時間は約1/3に短縮します。

能力を抑える＜ひかえめ＞



ふたを開けた状態

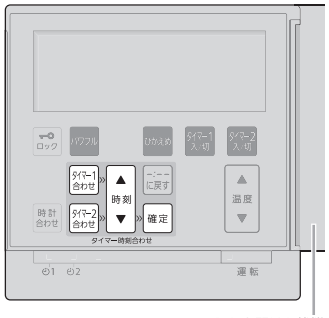
- 春先や秋口など、ふだんの設定の運転をすると、あたたまりすぎると感じるときに。
- 温度表示はそのままで、通常よりも能力を抑えて運転するので、暑くなりすぎません。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の ひかえめ を押す	 （表示例）	● 運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。
● ひかえめ設定を解除したいとき		
ひかえめ を押す		

⚠注意 必ず守る **設定温度5以上、またはパワフル運転（P14）中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する**
やけど予防のため。

お知らせ
- 「ひかえめ」設定をすると、運転スイッチ「入」にしたときの「パワフル」運転（P14）の時間は約1/3に短縮します。

タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞



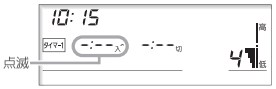
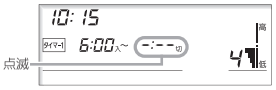
ふたを開けた状態

- P18〜20の方法でタイマー時刻合わせをし、P24の方法でタイマー「入」にしておくと、運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に温水ラジエーターの運転を開始または停止します。
- 1日のうち タイマー1 タイマー2 の2パターンのタイマー設定ができます。
- 入時刻・切時刻のどちらかのみ設定すれば、入タイマー・切タイマーとして動作します。(P23)

お知らせ

- タイマー入設定中は、タイマー時刻の変更はできません。(ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします)
  一度タイマー切にしてから変更してください。

● 自動で運転する時間帯を、タイマー1 に6時〜8時、タイマー2 に18時〜23時を設定する例で説明します

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 ●現在の時刻が正しいかどうか確認する ●タイマーが「切」であることを確認する		●P8「時計を合わせる」
1 ふたの中の タイマー1 合わせ を押す (入時刻設定)	 (表示例)	●運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。 ●前回設定した「入」時刻を表示します。
2 ▲ 時刻 ▼ で入時刻を設定し、 確定 を押す 【入時刻設定完了】 (切時刻設定へ)	 (例：入時刻 午前6時00分)	●一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。 ●前回の設定でよければ、「入」時刻設定せず、次の操作3をおこなってください。 ●「入」時刻を設定しない場合は、「−:−−」に設定してください。 (−:−− に戻す を押す) ●約60秒そのままにすると、タイマー時刻合わせが完了します。

(つづく)

タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞（つづき）

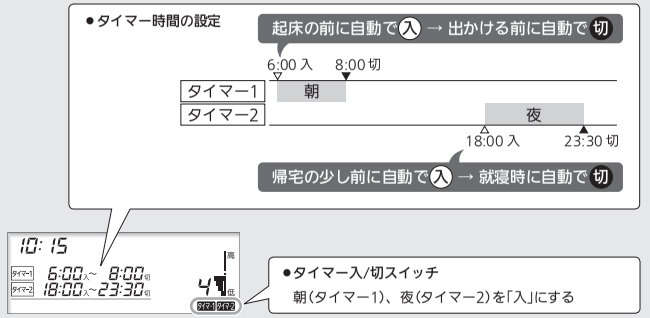
（つづき）

操作	操作後の画面	お知らせ
3 ▲時刻▼ で切時刻を設定し、 確定 を押す 【切時刻設定完了 タイマー1 時刻合わせ完了】	約30秒間点滅→消灯 （例：切時刻 午前8時00分）	●前回設定した「切」時刻を表示します。 ●「切」時刻を設定しない場合は、「－：－－」に設定してください。 （－:－－ に戻す を押す） ●約60秒そのままにしても、タイマー時刻合わせが完了します。 ●切時刻設定完了時に時計合わせをしていない場合は、時計表示が点滅しますので、そのまま時刻スイッチで時計合わせをしてください。
4 タイマー2 の設定も、同様にふたの中の タイマー2 合わせ を押して操作**1**～**3**の手順で設定する	 （例：タイマー1,2とも時刻設定完了）	

タイマー時刻合わせ完了後、P24の方法でタイマー「入」にしてください

タイマーの活用例① 毎日、朝と夜の決まった時間帯に運転する

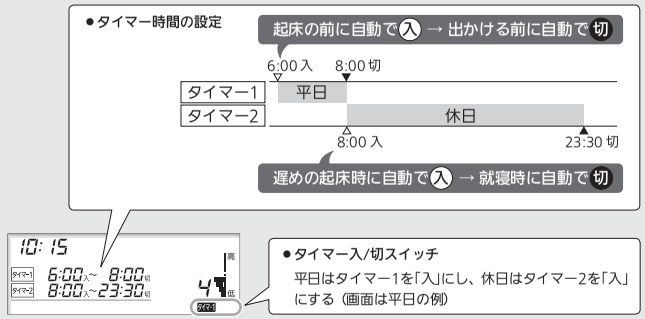
例）タイマー1 に朝の時間帯を、タイマー2 に夜の時間帯をそれぞれ設定します。



タイマー運転をする＜タイマー時刻合わせ＞（つづき）

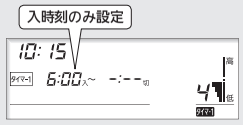
タイマーの活用例② 平日と休日で使い分ける

例）平日と休日の設定を、タイマー1 と タイマー2 に振り分けます。

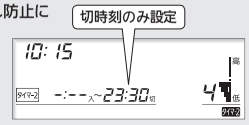


●応用● 例のように、タイマー1とタイマー2の時間帯がつながっている場合や重なっている場合は、タイマー1・タイマー2の両方を「入」にすれば、タイマー1とタイマー2が連続して運転します。

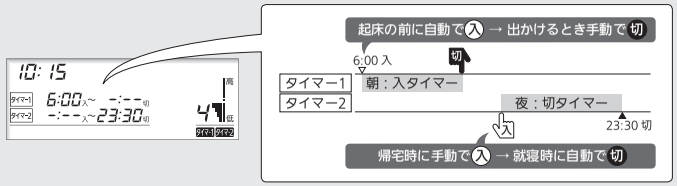
タイマーの活用例③ 入タイマーとして使う



タイマーの活用例④ 切タイマーとして使う

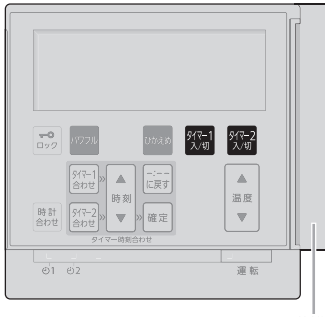


●応用1● 入タイマー・切タイマーを組み合わせる（タイマー1・タイマー2それぞれに「入タイマー」「切タイマー」を設定）



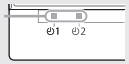
●応用2● 応用1の設定で、タイマー1・タイマー2の両方を「入」にした場合、タイマー1を手動で切らなければ、そのままタイマー2の切タイマー時間に温水ラジエーターの運転が停止します。

タイマー運転をする<タイマー入/切>



ふたを開けた状態

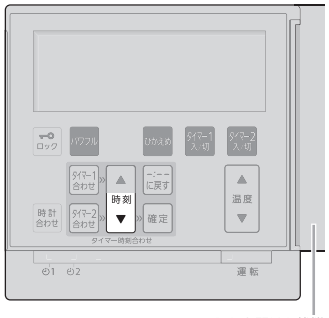
●P18～20の方法でタイマー時刻合わせをしてから、タイマー「入」にしてください。

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 ●現在の時刻が正しいかどうか確認する ●タイマー時刻合わせをしていることを確認する		●P8「時計を合わせる」 ●P18「タイマー運転をする<タイマー時刻合わせ>」
1 ふたの中の タイマー1 入/切 または タイマー2 入/切 を押す 【タイマー入設定完了】 ※タイマー切設定は、この方法でタイマー表示を消灯させてください	（例：タイマー1,2を設定）	●タイマー入設定すると、タイマーランプ点灯。  （左記の表示時の例）
【タイマー設定時刻になると】 タイマー入時刻になると、運転を開始します タイマー切時刻になると、運転を停止します		●タイマー入時刻になると、運転ランプ点灯。 タイマー切時刻になると、運転ランプ消灯。

お知らせ

●タイマー入設定中は、タイマー時刻の変更はできません。（ピピピと鳴り、タイマー表示が3回点滅してお知らせします）
一度タイマー切にしてから変更してください。

リモコンの音を消す（鳴らす）



ふたを開けた状態

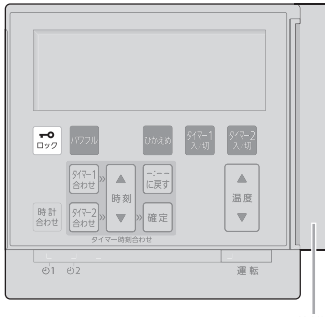
●スイッチの操作音や各お知らせ音を、鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は、鳴るように設定しています）

リモコンの音の種類

音	こんなときに音が鳴ります
ピッ	スイッチ操作
ピピッ	運転「入」
ピピピ	操作を受け付けられないとき
ピピピピピ	操作ロックできないとき 操作ロック中に運転「入」にしたとき
ピーピーピー	故障表示が出たとき

操作	お知らせ
1 ふたの中の時刻スイッチの［時刻 ▼］を、長押しする（約5秒）	●運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ●操作音を鳴らす設定にしたときは、「ピッ」と音がします。 操作音を消す設定にしたときは、音はしません。

操作ロックをする



ふたを開けた状態

●お子さまがさわったり、誤ってスイッチを押したりしても、作動しないようにスイッチをロックできます。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 タイマーと運転スイッチが「切」になっていることを確認する		●運転スイッチ「入」中・タイマー「入」中は、操作ロックできません。（ピピピピピと鳴ってお知らせします）
2 ロック を約3秒長押しする（ピッと鳴るまで）	点灯	●表示が消えます。
●操作ロックを解除したいとき		
ロック を約3秒長押しする（ピッと鳴るまで）	消灯 （表示例）	●再表示します。

日常のお手入れのしかた

●リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
●乾いた布でふいた場合は、表示画面（液晶部）が乱れることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると元の状態に戻ります。

お願い	**リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない** 変色や変形などの原因になります。
	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない 炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

故障・異常かな？と思ったら

★温水ラジエーター用リモコン・暖房に関する内容のみ記載しています。熱源機・温水ラジエーターの取扱説明書と併せてご覧ください。

リモコン

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点滅している **3桁の数字（故障表示）が点滅している**	熱源機に不具合が発生しています。	該当する故障表示の処置をする。 （熱源機の取扱説明書をご確認ください）
時計表示が「－：－－」になっている	停電後または熱源機の電源プラグを抜いたあと、再通電すると、時計が「－：－－」になります。	時計を合わせ直す。（P8）
タイマー「入」にできない	時計合わせ、またはタイマー時刻合わせをしていない。	時計を合わせる。（P8） タイマー時刻合わせをする。（P18）
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート（表面に傷などがつかないようにするためのもの）が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水などが入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。

故障・異常かな？と思ったら（つづき）

暖房		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
室内がなかなかあたたまらない	外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。	異常ではありません。
	温水ラジエーター用リモコンの設定温度を低めに設定している。	設定温度を上げる。（P12）
温水ラジエーター用リモコンの温度変更をしていないのに温水ラジエーターの温度が下がった	温水ラジエーターの運転しはじめは、早く温水ラジエーターをあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。	異常ではありません。
温水ラジエーターの運転中に音がする	暖房の熱によって、温水ラジエーターなどが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
運転していないのに温水ラジエーターがあたたまることがある	暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に温水ラジエーターがあたたまることがあります。	異常ではありません。

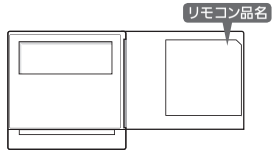
アフターサービスについて

●サービスを依頼されるとき

P31～32の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

【連絡していただきたい内容】

- 品名（FRR-14A-NB）
- お買い上げ日（保証書をご覧ください）
- 異常の状況（できるだけくわしく）
- ご住所、ご氏名、電話番号
- 訪問ご希望日



●保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

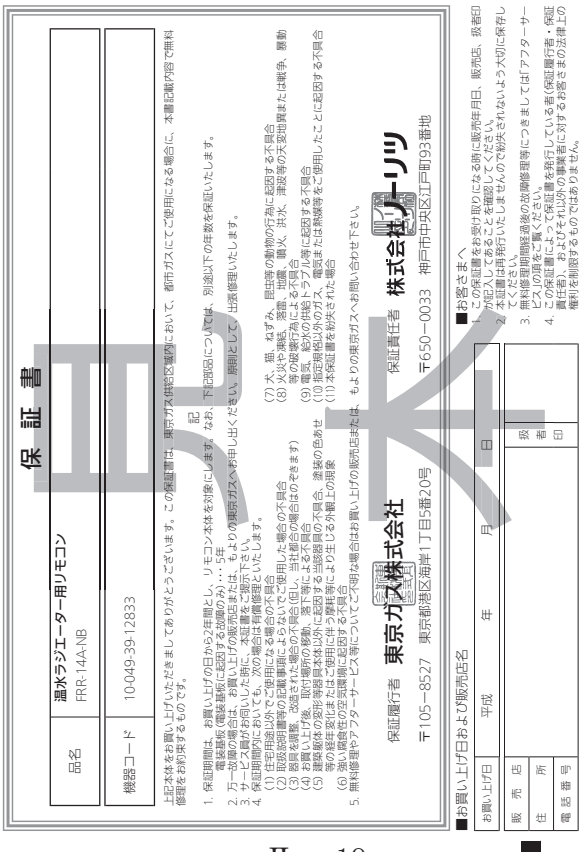
35

メモ

メモ

34

取扱説明書	FRR-14A-NB	100493912833			01



保証書

品名	温水ラジエーター用リモコン FRR-14A-NB
機器コード	10049-3912833

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、リモコン本体を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   - 電磁弁、基板：長期にわたり安定的に使用するため、5年
2. 万一、故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした折に、本証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 設置を資格、改造された場合の不具合（但し、当社指定の場合はのぞきます）
   (4) 設置場所の変更に伴う移設、再設置等による不具合
   (5) 設置後の輸送時の衝撃や落下による不具合、塩害による不具合、液漏の色あせ等の経年変化または、ご使用に伴う摩耗等による外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や爆発、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、騒動等の破壊行為による不具合
   (9) 指定以外の燃料（プロパンガス）に起因する不具合
   (10) 指定以外の供給方式（都市ガス以外）または熱源等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社　保証責任者　株式会社ノーリツ

〒105－8527　東京都港区海岸1丁目5番20号　〒650－0033　神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日	
販売店		扱者印
住所		
電話番号		

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印がはっきりしてあることを確認してください。
2. 保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

見本